

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州観光情報発信事業
事業主体 (連絡先)	南信州観光連携プロジェクト会議
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,684,800円 (うち支援金:1,347,000円)

事業内容

- ・観光情報誌『まっぷる』とのタイアップ記事の掲載
編集者と共同で掲載記事を企画、作成。
企画の検討については、南信州観光連携プロジェクト会議のメンバーと編集担当記者で行い、担当記者の観光地での取材にメンバーが同行することで、事業者との意見交換や編集者としての視点を取り入れる企画を実施。
本事業は平成28年度から取り組んでおり、本年度は都市圏で知名度の高い阿智村の「日本一の星空」が南信州にあることを前面に出しつつ、「星空」の周遊コースを提案することで、南信州への誘客効果を高め、かつ、より長い期間滞在を促す企画とした。



【タイアップ記事紙面】

【目標・ねらい】

市販の観光情報誌を見ていると東北信地域の観光情報が中心であり、南信地域の観光情報は伊那路・木曾路の一括りでまとめられている現状がある。観光情報誌などの「南信州」の存在感を大きくし、全国的な知名度アップを図ることで着地型観光を推進し、観光誘客を増加させ地域活性化へつなげる。

事業効果

- ・今回の情報発信にあたっては、観光情報誌の中に新たに「南信州エリア」を独立させたページを確保することができるため、南信州の情報を集約し効果的に発信することが可能となった。タイアップページの蓄積により、将来的には当エリア内での周遊コースなどの発信が可能となる。
- ・信州担当の編集者が南信州地域を訪れて、実際に当地域の観光資源を見たことで南信州の魅力を確認していただいたこと、また、プロの目線を見たことにより、十分魅力がありながら情報発信が不足していることや、潜在的な観光資源について情報を得ることができた。こういった情報は、今後のタイアップ記事制作の参考になったほか、我々の観光情報発信のやり方にも資するものになっている。
- ・編集者の当地域への取材を通じて直接魅力を伝えることができたため、『まっぷる』独自の制作記事においても取り上げてもらえるようなPRができた。

※自己評価【A】

【理由】

編集社任せではなく、市町村の観光担当者や事業者の声を反映した誌面企画により今後を見据えた戦略的な記事を制作することができた。また、担当記者の取材に同行したことで、外の目で当地域がどう見えるか、どう情報発信すべきかなど有益な情報を得ることができた。

今後の取り組み

- ・今年度のタイアップ企画の検討の中で得られたプロの目から見た当地域の観光資源の見え方などを参考に、戦略的な広域観光を推進していく。